

2024 FWTジュニア・ライダー・ルールブック

0.予備知識	4
1.カレンダー	4
2.ネーミング	4
3.フォーマットとランキングルール	4
3.1.ツアーフォーマット	4
3.2.年齢カテゴリー	4
3.3.ランキング／地域／タイトル	6
3.4.国籍	6
3.5.ツアータイトル	6
3.6.ナショナル・チャンピオン	6
3.7.フリーライド・ジュニア世界選手権 (FJWC)	7
3.8.フリーライド・ジュニア世界選手権 の招待について	7
3.9.FWT QUALIFIER ライセンス	8
3.10.FWTジュニア・ランキング・タイ	8
3.11.シードリスト	8
4.イベント登録	8
4.1.イベント登録とカテゴリー分け	8
4.2.カテゴリー分け	9
4.3.FWTジュニア・ライセンス	9
4.4.FWTジュニア・ライセンスのアップグレード	10
4.5.FWT ジュニア選手避難保険	10
4.6.キャンセル・延期・払い戻し	11
4.7. キャンセルカテゴリとイベント	11
4.8.負傷／有効な欠場／妊娠と凍結点	11
4.9.ワイルドカード	12
4.10.トランスジェンダー規定	13
5.競技形式	13
5.1.ジュニアライダーに同伴するコーチと大人	13
5.2.予選と決勝	13
5.3.自然会場と人工会場	13
NS、DNF、DNS、	DQ13
5.4.フリップとスピンのルール	14
5.5.天候/事故規則	15
5.6.競技会場でのトレーニング	16
5.7.競技会場でのドローン撮影	16
5.8.走行中の無線通信	16
5.9.必須装備と装備チェック	16

5.10.表彰式	17
6.ライダーズミーティング	17
6.1.必須ミーティング	17
6.2.BIBドロ	18
7.審査	18
7.1.判定限界	18
8.苦言	19
8.1.最終スコアの変更	19
8.2.確認できないライディング	19
8.3. 苦情のタイミング.	19
9.アスリートの権利と責任 責任	19
9.1.ライダー行動規範	19
9.2.ライダーのメンタルヘルスとウェルビーイング	20
9.3.サステナビリティ	20
10.FWTジュニア・ポイント・システム	21
10.1.スキー男子	21
10.2.スキー女子&スノーボード男子	23
10.3.スノーボード女子	25

0. 予備知識

これらのルールブックは変更されることがあります。極めて異例な状況において、慎重に検討した結果、FWTの経営陣は、我々が直面する可能性のある予測不可能なケースや変化に対応するために、現行のルールブックを最適なものに変更することを決定する場合がある。

FWTフリーライドコミュニティの全メンバーは、FWT公認イベントに参加する際、地元、地域、国、政府の公衆衛生に関する指令を尊重し、それに従うことが求められる。

1. カレンダー

南半球の大会については、大会名／日程／場所／スターポイントが6月末までに発表される。

北半球の大会については、大会名／日程／場所／スターポイントが11月末までに発表される。

シーズン中に追加イベントが発表される可能性もある。

2. ネーミング

これまでのフリーライド・ジュニア・ツアー(FJT)は、フリーライド・ワールドツアー・ジュニア(FWT JUNIOR)と呼ばれるようになる。

正しいイベント名の付け方は次のようになる: 2024 + "リゾート名またはイベント名" + JUNIOR + 1/2/3/4* (例: 2024 Verbier Freeride Week Junior 2*)

3. フォーマットとランキングルール

注意: 以下のルールは、リージョン1のライダーとリージョン1のイベントにのみ適用される。リージョン2のライダーとイベントはIFSAのルールに従うが、若干異なる場合がある。

3.1. ツアー形式

FWT JUNIORは、1*から3*までの異なるポイント値を持つ一連のイベントで構成されている。

シーズンは6月1日^(st)から翌年5月31日^(st)まで。

FWTジュニアランキングは、シーズン中の各ライダーのベスト3成績で構成される。ライダーは無制限にイベントに参加できる。

FWT JUNIOR イベントは独立して開催され、以下の共通点がある。

- 組織、コミュニケーション、競技形式、競技会場、セキュリティ、ライダーへのホスピタリティの面で一定の品質レベルに達しており、FWTとそのアドバイザーの経験から恩恵を受けている。

3.2. 年齢カテゴリー

2023-2024年シーズンより、リージョン1ライダーの年齢条件が以下のように更新される:

リージョン1ライダーは、スキー男子カテゴリーを除き、2つの年齢グループに分けられる: U-14とU-18

- U-14: 10歳から14歳までのライダーを対象とする。大会当日に15歳になってはならない。14歳になったジュニアは15歳になるまでU-14カテゴリーで競技することができるが、次のカテゴリー(スキー男子はU-16、他の3カテゴリーはU-18)に変更することがで

きる。ジュニアライダーは10歳になるとすぐにライセンスを購入し、U-14年齢グループで競技を開始することができる。

- U-18:15歳から18歳までのライダーを対象とする。大会当日に19歳になってはならない。大会当日に19歳になったジュニアは "ジュニアU-18" として出場できず、19歳になった時点でFWTクオリファイヤーシリーズに切り替えなければならない。18歳になったジュニアは19歳までU-18カテゴリーで出場できるが、FWT QUALIFIERSシリーズに切り替えることができる。
- 例えば、大会当日に19歳になる選手はジュニアU-18として出場することはできない。

リージョン1スキー男子ライダーには3つのカテゴリーがある: U-14、U-16、U-18。

- U-14:U-14カテゴリーは、上記のように他のカテゴリーと同じ仕様となっている。
- U-16:このカテゴリーは14歳から16歳までのスキー男子ライダーが対象。大会当日に17歳になってはならない。16歳になったスキー男子のジュニアは、17歳になるまで「U-16」カテゴリーで出場できるが、次のカテゴリー(U-18)に変更することができる。17歳になったジュニアスキー男子は、引き続き「ジュニアU-16」として出場できるが、17歳になり次第ジュニアU-18カテゴリーに転向するか、あるいはU-16として現在進行中のシーズンを終えるかを選択できる。
- U-18:16歳から18歳までのライダーを対象とする。大会当日に19歳になってはならない。大会当日に19歳になったジュニアは "ジュニアU-18" として出場できず、19歳になった時点でFWTクオリファイヤーシリーズに切り替えなければならない。18歳になったジュニアは19歳までU-18カテゴリーで出場できるが、FWT QUALIFIERSシリーズに切り替えることができる。
- 例えば、16歳になった選手はシーズン中にU-18カテゴリーに転向することができる。

重要:

一度上のカテゴリーに上がると、下のカテゴリーに戻ることはできない。

シーズン途中でカテゴリーを変更した場合、変更前のカテゴリーでのランキングは新しいカテゴリーでのランキングにカウントされない。

重要な注意事項

U-14ライダーは、村を出発する最初のリフトからスタートゲートまで、そしてフィニッシュエリアから最後のリフトを降りてベースに戻るまで、終日大人(親、コーチ...)の同伴が必要である。U-14ライダーは大人の同伴なしに滑走することはできない。その場合、次の大会に再登録できない可能性がある。

3.3. ランキング／地域／タイトル

世界には2つのランキングがある。リージョン1(ヨーロッパ、アジア、オセアニア)とリージョン2(アメリカ、カナダ、南アメリカ)。

ライダーは世界中どこでも競技に参加し、ポイントを集めることができるが、ランキングされるのはイベントが開催された地域のみである。ライダーは獲得したポイントを他の地域に移すことはできない。

3.4. 国籍

ライダーが国籍の変更を希望する場合は、新しい国籍を証明する書類と有効なパスポートをFWTに提出し、Eメール(juniors@freerideworldtour.com)で送付することによってのみ可能となる。

ライダーが国籍を変更できるのは1度だけ。

国籍変更を希望するライダーは、毎年5月から11月までの期間に限り、国籍変更を行うことができる。

FWTは無作為に国籍の変更を管理することがあり、予告なしに変更された場合、そのライダーは今シーズンの出場資格を失う。

3.5. ツアータイトル

U-16部門では、リージョン1の優勝者に「YEAR FWT JUNIOR Winner Europe, Asia, Oceania U-16」の称号が与えられる。

U-18部門では、リージョン1の優勝者に「YEAR FWT JUNIOR Winner Europe, Asia, Oceania U-18」の称号が与えられる。

リージョン2の勝者には「FWTジュニア・ウィナー・アメリカズ」の称号が与えられる。

ベスト3の結果がカウントされる。

表彰台争いが同点の場合、タイ・スプリッター・ルールが適用される（「FWTジュニアランキング同点」の章参照）

3.6. ナショナル・チャンピオン

ナショナルランキングは、同じ国のライダーが獲得したFWTジュニアポイントを累積する。ライダーは、所属するリージョン内のどの国でも、好きなだけ多くの大会に出場することができる。ナショナル・ランキング／タイトルの獲得にカウントされる成績の最大数は3つ（ベスト3）、最小数は1つ（1）である。

U-14カテゴリーでは、ナショナル・チャンピオンには「YEAR FWT JUNIOR 国名 U-14優勝」の称号が与えられる。

U-16カテゴリーでは、ナショナル・チャンピオンは「YEAR FWT JUNIOR 国名 U-16優勝」のタイトルを持つ。

U-18カテゴリーについては、ナショナル・チャンピオンには「YEAR FWT JUNIOR 国名 U-18優勝」の称号が与えられる。

表彰台ランキングが同点の場合は、タイ・スプリッター・ルールが適用される（「FWTジュニアツアーランキング同点」の章を参照）。

FWT がタイトルを授与するための1日ナショナルイベントに同意した場合、このイベントは「YEAR NATIONAL FREERIDE CUP」と呼ばれる：「フリーライド・カップ（YEAR name of the country Freeride Cup）」と呼ばれる。このイベントの勝者にはタイトルが与えられる：フリーライド・カップの優勝者のタイトルは「YEAR name of the country Freeride Cup Winner age category」となる。例えば「2023 ベルギー・フリーライド・カップ U-14 優勝」。

同じ年に別のカップ優勝者とナショナル・チャンピオンが誕生する可能性もある。

3.7. フリーライド・ジュニア世界選手権（FJWC）

FJWCの年齢カテゴリーは15歳から18歳の1種類のみ。

17-18歳の年齢制限は、各リージョンのルールを尊重する。

FJWC には 4* ポイントのステータスが与えられる。この結果はフリーライド・ジュニア・ツアーのランキングやナショナル・チャンピオンのタイトルにはカウントされないが、シードリストに使用される。

FJWCは1日限りのイベントで、ジュニア世界チャンピオンを決定する。

FWTマネジメントは、過去1年間の成績と代表枠に応じてリージョン1のライダーを招待する。

FWTマネジメントはリージョン2の招待をIFSAに委任し、IFSAはリージョン2のライダーを過去の成績と代表枠に応じて招待する。

3.8. フリーライド・ジュニア世界選手権招待

フリーライド・ジュニア世界選手権には、最大65名のライダーが招待される。

全フィールドの約60%がリージョン1の選手、40%がリージョン2の選手に与えられる。

リージョン1の選手は以下の基準に従って招待される：

過去のシーズンランキング：リージョン1の出場枠のほとんどは、過去のシーズンランキングによって決定される。FWTは、国内代表と競技レベルの両方を確保するために、国ごと、カテゴリーごとに出場枠を決定する。

リージョン1では、1国、1カテゴリーにつき最大4名まで招待できる。

リージョン1のスキー少年については、U-18カテゴリーの上位10名が招待される。U-16の上位2名も招待される。U-18のトップ15がすでに3名以上招待されている場合は、その国のベストU-16のみが招待され、U-18は最大3名までしか招待されない。

リージョン1スキー女子については、U-18カテゴリーの上位6名が招待される。

リージョン1のスノーボーダーは、U-18カテゴリーの上位6名が招待される。

リージョン1スノー女子は、U-18カテゴリーの上位4名が招待される。

さらに、ニュージーランド、日本、スカンジナビア諸国など、特別な国々に割り当てられる枠もある。

ニュージーランド選手：NZLツアーランキングはスキー男子のベスト2名の予選に使用され、ヘッドジャッジの評価により、スキー女子、SNB男子、SNB女子のベスト3名にも追加招待が与えられる可能性がある。

日本人ライダー：日本人ライダーの出場枠は、NZL大会中の成績と日本での最初の大会終了後、日本人ヘッドジャッジの評価に基づいて決定される。

スカンジナビア人選手：ノルウェー人選手の出場枠は、ヘッドジャッジの評価に基づいて、スカンジナビア大会での成績によって決定される。

地域別ワイルドカード：開催地であるリゾートの選手層が薄い場合、数名の出場枠を地域別選手へのワイルドカードとして与えることができる。

ディフェンディング・ジュニア世界チャンピオンは、その年の成績に関係なく、またその国からの招待選手の数に関係なく、出場資格を与えられる。

重要：FJWC前に18歳になるライダーは、FWT予選に参加したことがない場合のみ出場できる。大会開催日がFJWC終了後であれば、予選に参加することができる。

3.9. FWT QUALIFIER ライセンス

ジュニアが19歳になり、ジュニア・イベントに参加できなくなった場合、ジュニアのFWT JUNIORポイントは新しいFWT QUALIFIERポイントとなる。こうすることで、ジュニアは新しいFWT QUALIFIERポイントによってシードリストに掲載され、FWT QUALIFIERに登録できるようになる。

3.10. FWTジュニア・ランキング・タイ

ジュニアツアーのタイトルがタイとなった場合、以下のルールでタイ分けが行われる：

a.th、ベスト4。

b. カウント4の結果について、3*、2*、1*の各イベントにおける1^{sts}、2nd、3rd...の場所の数を比較する。

c. 直接対決、両選手がエントリーした大会で誰が誰に勝ったか。

3.11. シードリスト

FWT JUNIOR大会が数百の応募の中から選手を選出するために、ワールドワイド・シーディング・リストを使用する。このリストでは、選手の成績は52週間残り、その後消えてしまう。

シードリストは、各選手の過去52週間のベスト3成績で構成される。

FWTジュニアのオーガナイザーは、シード選手リストに従って、受け入れ可能な選手数の上限に達するまで出場枠を埋めていく。ランクが十分でなく、3*の大会に出場するのが難しいライダーは、ランキングを上げるために下位の大会で高ポイントを獲得しなければならない。

18歳になるジュニア選手は、ジュニアのシードリストと同じポイントが予選のシードリストに記載される。

4. イベント登録

4.1. イベント登録とカテゴリー分け

FWTジュニア・ライダーは、すべてのジュニア・イベントにFWTウェブサイト(www.freerideworldtour.com)からオンライン登録しなければならない。

ライダーは登録の際、本籍と姓を名乗らなければならない(ID/パスポートに記載されているもの)。

南半球の登録は、7月1日st (またはイベントがカレンダーに追加され次第)に開始され、イベントの約4週間前に締め切られる。

北半球の登録は、11月1日st (またはイベントがカレンダーに追加され次第)に開始され、イベントの約4週間前に締め切られる。

FWT JUNIOR 2*および3*の全大会において、ライダーは現在のシード権リストの順位に基づいて受理される。

FWT JUNIOR 1*のイベントについては、先着順の申し込みシステムを採用する。

U-14カテゴリーについては、先着順とする。

イベントの4週間前、ライダーは登録したイベントに当選(または落選)したかどうかの確認メールを受け取る。

また、ウェイトिंगリストに登録されているライダーは、イベント開催日前であればいつでもウェイトINGリストへの登録をキャンセルすることができる。また、キャンセル待ちリストに登録されているライダーは、大会開催日前であればいつでもキャンセルすることができる。キャンセル待ちリストに登録されているライダーがキャンセルをしなかった場合、(他のライダーのキャンセルなどにより)出場が確定する可能性がある。

登録が締め切られた後、招待されたライダーが出場を希望しない場合は、3日以内に登録を取り消すことができる。3日を過ぎると、クレジットカードの引き落としが行われ、出場が確定する。ある選手が登録をキャンセルした場合、ウェイトINGリストに登録しようとした次の選手には、3日以内に登録をキャンセルできることを確認するメールが送られる。同じプロセスは、イベントが満員になるまで繰り返される。

ウェイトINGリストに登録されているライダーは、大会当日までウェイトINGリストへの登録を取り消すことができる。

ウェイトINGリストは固定されたリストではなく、シードリストが進化するにつれて進化していくことに注意してください。

通常の登録期間が終了してもイベントが満員にならない場合、登録ライダー全員に招待状が送付され、登録が再開される。この期間に登録されたライダーはすぐに確認され、クレジットカードはイベントが満員になるまで即座に引き落とされる。

その場合、先着順となり、シード順位による受付は行われない。

イベントによっては、双方向の登録システムがある場合もある。一方は「メンバー・プロ」を通じて、www.freerideworldtour.com もう一方は主催者に直接申し込む。主催者が先着順方式を採用するか、あるいは別の方式を採用するかは、大会前に連絡される。FWTは、シードリスト方式を採用する。

4.2. カテゴリー分割

各イベントの出場枠に応じて、そのカテゴリーに登録したライダーの数に応じて招待される。

ただし、上記の比率にかかわらず、全カテゴリー（または全登録選手）から最低6名の選手を招待する。

あるカテゴリーが最低登録人数に達しなかった場合（例えば、8人のSNB Wが10人の枠に対して登録した場合）、イベント主催者は残りの枠を他のカテゴリーに分配する。

通常の登録期間が終了してもイベントが満員にならない場合、登録ライダー全員に招待状が送られ、登録が再開される。この期間中に申し込んだライダーはすぐに確認され、クレジットカードはイベントが満員になるまで即座に引き落とされる。

この場合、先着順となり、シード順位による受付は行われない。

4.3. FWTジュニアライセンス

1つまたはすべてのイベントに出場するためには、ワイルドカードを含むすべてのライダーが年間ライセンスを取得しなければならない。FWTジュニアライセンスには2種類ある：

FWT JUNIORワンイベントライセンス：リージョン1 (30 €)

このライセンスは、年間1大会のみの出場を希望するライダーが購入しなければならない。1イベントライセンスを購入したライダーがさらに多くのイベントに出場したい場合は、シーズンライセンスにアップグレードする必要がある（差額のみを支払う）。

ライダーがこのライセンスを購入したが、登録できなかった、またはどのイベントにも参加できなかった場合、1イベント分のライセンスは払い戻しされない（アスリートはまだ以下の恩恵を受けることができるため）。

このワン・イベント・ライセンスは以下のサービスを提供する：

- 選手ごとにユニークな番号を生成することで、スターティングリストやランキングのスペルミスを防ぐ。
- FWTのウェブサイト上でFWTジュニアの全イベントの登録画面を自動化。
- ライダーのシード順位とランキングリスト。

FWT JUNIORシーズンライセンス：リージョン1 (80 €)

このライセンスは、2つ以上の大会に出場するライダーが購入しなければならない。

ライダーがこのライセンスを購入したにもかかわらず、登録できなかったり、いかなるイベントにも参加できなかった場合は、5月31日（^土）までに限り払い戻しを受けることができる。

このシーズンライセンスは以下のサービスを提供する：

- FWTウェブショップの割引とパートナー特別オファー

- 選手ごとにユニークな番号を生成することで、スターティングリストやランキングのスペルミスを防ぐ。
- FWTのウェブサイト上でFWTジュニアの全イベントの登録画面を自動化。
- ライダーのシード順位とランキングリスト。

何らかの理由で有効なライセンスを持たずにスタートしたライダーは、その結果をランキングに計上することはできない。

4.4. FWTジュニアライセンスのアップグレード

FWT JUNIORライダーがFWT QUALIFIERカテゴリーの成人ライダーの資格年齢(シーズン中に18歳になったジュニアがFWT QUALIFIERに移籍する資格)に達した場合、そのライダーはFWT JUNIORで戦うか、FWT QUALIFIERに移籍してジュニア・ライセンスのままシーズンを終えることができる。FWT QUALIFIERサーキットに進むことを決めた場合、FWT QUALIFIERイベントに出場する前に、FWT JUNIORからFWT QUALIFIERライセンスにアップグレードしなければならない。

FWTジュニアライセンスを購入したライダーがシーズン中にFWTクオリファイヤーに移行する場合、フリーライドワールドツアーは、ライダーが今シーズンのFWTクオリファイヤー会員ライセンスを購入した後、FWTジュニアライセンス料を返金する。

FWT JUNIORワン・イベント・ライセンスでFWT JUNIORに出場したライダーは、FWT QUALIFIERに出場する前にFWT QUALIFIER「ツアー・ライセンス」にアップグレードする必要があり、FWT QUALIFIERツアー・ライセンスとFWT JUNIORワン・イベント・ライセンスの差額を支払うだけでよい。

4.5. FWTジュニア選手避難保険

主催者がFWTジュニア避難保険に加入している大会では、すべてのライダーはこの保険に加入する義務がある。この保険は、ライダーが個人で加入している保険でカバーできない場合、病院までの避難費用、雪上パトロール費用、救急車費用、ヘリ費用、帰宅費用をカバーするものである。

28ユーロの保険料は登録料に含まれる。この強制避難保険は医療費の一部もカバーするが、各ライダーは出場するすべての国で有効な個人医療保険に加入しているかどうか、またエキストリーム・フリーライド・コンテストに参加する場合(万が一、母国へ搬送されない場合に現地で大がかりな治療が必要になった場合)にカバーされるかどうかを注意深く確認する必要がある。コンテストに参加する際に各ライダーが署名する免責事項には、上記の事項を確認したことが記載される。

4.6. キャンセル・延期・返金

シナリオ1:ライダーが到着する前に、主催者が雪不足のためにイベントをキャンセルしなければならない場合、イベント主催者は各ライダーに対し、保険料の100%および登録料の100%を返金する。

シナリオ2:悪天候／強風／大雪／...などの理由で、主催者が天候ウィンドウの間にイベントを開催することができず、イベントをキャンセルしなければならない場合、保険も登録料の払い戻しも行われない。

選手のキャンセルポリシー選手が病気や怪我により参加をキャンセルする場合、100%の払い戻しを受けるが、FWTマネジメントSAIに有効な診断書を提示しなければならない。

ライダーは、キャンセル待ちのライダーが代わりに出場できるよう、できるだけ早く、遅くとも当該大会のライダーズミーティングの前までに、FWTマネージメントSAIにその旨を連絡しなければならない。健康診断書は、遅くとも大会の3日後までにFWTマネージメントSAIに送付されなければならない。

少なくともライダーズミーティングの前にFWTマネジメントSAに負傷の事実を伝えなかった場合、負傷したライダーは払い戻しの対象外となる。診断書の提示がない選手については、日付に関係なく返金はない。

延期されたイベントFWTは、大会が新しい日程に延期された場合、登録をキャンセルしなければならないライダーには返金を行う。

イベントが延期され、ライダーがキャンセルを余儀なくされた場合、残りの出場枠はウェイティングリストから補充される。それでもまだ定員に達していない場合、登録は再開される。イベントが2度目も延期された場合、確定したライダーには再度キャンセルのチャンスと払い戻しのチャンスがある。

第1回大会に出場が決定し、第2回大会をキャンセルしたライダーは、まず第3回大会に出場できるかどうかを尋ねられる。現在のシード順位が優先順位を決定する。

注意: 登録またはライセンスの払い戻しの場合、その費用として5ユーロのクレジットカード手数料がFWTから徴収される。

4.7. 中止されたカテゴリーとイベント

2023/2024シーズンより、カテゴリーを成立させるための各カテゴリーの最低出場人数は設定されなくなる。また、キャンセルされたイベントに対するポイントの帰属もない。

4.8. 負傷／有効な欠場／妊娠と凍結点

負傷、有効な欠場、または妊娠中のライダーは、ポイントを凍結することによって、負傷期間中、および負傷、有効な欠場、または妊娠後の回復期間中、グローバル・シード・リスト上の地位を保持することができる。ライダーのポイントは、負傷または妊娠が発生した週の時点で「凍結」される。シーズン中に有効な欠場があった場合、ライダーのポイントが凍結されるのは、シーズンが終了した時点で、シーズン開始時点まで遡る。

シーズン中に負傷した場合、または妊娠のためにシーズンをスキップしなければならない場合、選手は書面にてFWT運営チームに通知しなければならない。回復するまで選手のポイントを凍結するためには、負傷または有効な欠場の日付と種類を説明し、有効な診断書または欠場証明書を提示しなければならない。有効な欠場には、1年間海外で過ごすこと、制限のために旅行できないこと、またはケースバイケースで評価されるその他の理由が含まれる。

a) FWTジュニア・ポイントの凍結

フローズン・ポイント・プロトコルは、負傷したライダーが負傷期間中、および負傷から回復した後もシード権を保持できるようにするものである。これを実現するため、負傷したライダーの各ランキングにおける成績は、負傷した週のものとして「凍結」され、ライダーの状態が負傷または回復している限り、各ランキングにおける凍結された成績に基づいて順位が決定される。医師の署名がある診断書を受理した時点で、ライダーのFWTジュニアポイントは負傷が発生した週のものとして凍結される。

b) 負傷／回復期間

ライダーの負傷期間は、負傷が発生した日から最長52週間とする。この間、ライダーのステータスは「負傷中」となる。ライダーが52週間以内に競技を再開しなかった場合、凍結されていたステータスは自動的に「負傷」から「回復」に変更される。

ライダーのステータスが「回復」に変更されてから52週間が経過した場合。この場合、ライダーのステータスは通常（接頭辞の削除）に変更され、凍結されていたポイントはすべて削除され、現在のポイント（この時点でライダーはもう結果を残していないため、ポイントはゼロとなる）に基づいて順位が決定される。

ライダーが回復してからイベントに出場した場合。この場合、ライダーの現在の成績が凍結された成績を上回る可能性があり、その場合、ライダーはベスト3の成績（現在の成績と凍結された成績）に基づいてランキングされる。

d) 負傷したライダーが凍結ポイントを申請する方法

医師の署名入りの診断書をFWTマネジメントSA: juniors@freerideworldtour.com。診断書には、負傷した日付とおおよその回復期間を記載してください。ライダーポイントの凍結申請は、遅くとも負傷日から1週間以内に提出する必要がある。その他、ポイント凍結に関するご質問は、下記までお気軽にお問い合わせください: juniors@freerideworldtour.com。

注意: ポイントはランキングではなく、シード順位で凍結される

4.9. ワイルドカード

FWTジュニア1*、2*、3*イベント: 1大会につき最大5枚のワイルドカードが与えられる。そのうち3枚は地元オーガナイザーの手に委ねられる。このワイルドカードは、地元オーガナイザーが特別なメディアや地元のニーズに対応するためのものである。残り2枚のワイルドカードはFWTの手中にあり、シード権を獲得するのに十分なポイントを持たない才能あるライダーに与えられる。これらのワイルドカードは賞金を獲得し、表彰台に上がることができ、FWTジュニア・ポイントを獲得することができる。ワイルドカードのライダーは、FWTのウェブサイトからイベントに登録し、FWTジュニアライセンスを購入しなければならない。

FWT JUNIOR本戦の前に予選がある場合、予選の上位者には追加ワイルドカードが与えられる可能性がある。ワイルドカードの枚数は、大会前にFWTと主催者から通知される。ワイルドカードは合計10枚まで与えられる。8枚は予選イベントの勝者のために地元の主催者の手に、2枚はFWTの手に渡る。

4.10. トランスジェンダーのルール

性別の変更があった場合、新しい性別のカテゴリーで競技を行うためには、有効な新しいパスポートをFWTに提出し、毎年シーズン前(南半球の大会は7月、北半球の大会は12月)に新しい性別のホルモン値をFWTに証明する書類を提出しなければならない。

5. 競技形式

5.1. コーチおよびジュニアライダー同伴の大人

U-14 "カテゴリーのFWTジュニアライダーは、必ず大人1名が同伴しなければならない。

同伴者(親またはコーチ)1人につき、ジュニアライダー数人の面倒を見ることができる。

10歳から14歳のライダーは参加できない:

- 一人スキー
- 競技エリアに一人で行く
- 会場のスタート地点まで一人で行く
- 競技エリアから一人で滑り出す

必ず大人1名が同伴しなければならない。U-16およびU-18カテゴリーには適用されません。

5.2. 予選と決勝

競技形式にはさまざまな種類がある: 1日だけの競技、予選日と最終日の2日間にわたる競技、最終日に新たな得点を与える競技、2日間にわたる競技、両日の得点を組み合わせて1日目終了後にカットする競技、あるいはカットしない競技などである。

注: 大会主催者が大会開始前に好天が1日しかないことを知っている場合、予選と決勝、あるいは1日目と2日目の代わりに、全選手に対して1回のみの走行とし、その走行を最終成績としてカウントすることを決定し、全選手に発表することができる。

予選日と最終日がある大会では、最終日の選考に漏れた選手は最終日の結果リストの最後に追加される。彼らは最終日の順位表に従ってポイントを獲得する。

5.3. 自然の会場と人工の会場

フリーライド競技にはさまざまな種類がある：

純粋なビッグマウンテン：山肌は手つかずで、ライダーはそれをそのまま乗りこなす。

人工キッカーを使用する大会は、FWTジュニアの一部とすることができるが、レベルは最大2*までとする。

タイムのみに基づくフリーライド競技会(ダービー)は、FWTの判断の下、個人ランキング付きでFWTジュニアの一部とすることができるが、レベルは最大2*までとする。

1. NS、DNF、DNS、DQ

NSとはノー・スコアのこと：滑走中にスキーまたは必須用具(「必須用具と用具チェック」の章を参照)を紛失したライダーは、最終順位表でNS(No Score)となる。それ以外の紛失はNSとして認められない。

ポールの紛失によるジャッジの減点はない。例：ミスを犯さずにスタートゲートを押し出す際にポールを紛失した場合、その選手はペナルティを受けない(減点されない)が、ポールの紛失がコントロール不能の結果であった場合、ジャッジはコントロール不能のペナルティを科す。しかし、ポールを持たずに滑ることは、ライディングテクニック、バランス、全体的なコントロールに影響を与える可能性があるため、ポールを失ったことによる滑りの悪さは減点される可能性がある。

スノーボーダーが滑走中にボードを脱いだり、片足をボードから外したりした場合は、ライダーズミーティングで指定されない限りNSとなる。例えば例：フィニッシュまたは会場の一部がプッシュしないとアクセスしにくい場合、スノーボーダーはNSを受けることなくボードを脱ぐことができる。

NSとなったライダーは全員、NSでない競技の最後のライダーの後ろに順位付けされる。各カテゴリーに1名以上NSライダーがいる場合、NSライダーはスキー／必須用具の紛失またはボードのストラップを外すまでの得点に従って順位が決定される。例例：20名のライダーが参加するイベントで、4名のライダーがスキーを失った場合、4名のライダーはNSになるまでにジャッジがつけた点数によって17位th から20位th 。NSとなったライダーは、その順位に応じたポイントと賞金を獲得する。

注意：スキーを失った(またはスノーボードのストラップを外した)ライダーは、最も簡単なルートでフィニッシュラインに下りなければならない。当初予定していたジャンプのあるラインを走ることは許されず、また転倒やスキー紛失の危険性がある。

注意Ⅱ：スキーを失ったり、ボードのストラップを外した後にラインを終えるようなライダーは、制裁を受ける可能性がある。

DNFとはDid Not Finishの略：負傷のため完走できなかったライダーや、閉鎖区域を走行したライダーは、最終順位表でDNF(Did Not Finish)となる。その選手はNSと同様に、NSやDNFにならなかった他の選手の後に順位付けされる。例：20人のライダーが参加したイベントで、4人がNS、1人がDNFとなった場合、5人のライダーは、NSまたはDNFとなった時点までのジャッジの採点によって、16位th)から20位th)までのライダーとは別に、他のライダーの後ろにランクされる。DNFとなったライダーは、順位に応じたポイントと賞金を獲得する。

DNSとはDid Not Startの略：出場資格を得たライダーが、何らかの理由でスタートしなかった場合、FWTポイントは与えられず、順位も付かない。ただし、出場を予定していたライダーが、不可抗力(天候、安全面など)によりスタートできなかった場合は、NS、DNFを問わず、最終順位のライダーのポイントが与えられる。また、正当な理由なくスタートに遅れた場合はDNSとなり、得点は加算されない。

DQとはDisQualifiedの略：DQライダーは、NS、DNF、DNSに次いで最下位となり、ポイントも獲得できず、その大会の賞金も獲得できない。DQライダーは、複数大会の出場禁止などの制裁を受ける可能性がある(8.FWT行動規範参照)。

表彰台に上がるには得点が必要です。得点者が3人に満たない場合は、1人か2人のみで表彰台を構成することもある。全選手が滑走中にスキーを失った場合、優勝者はいない。全選手が最終順位の順位点を獲得する。(例えば、スタート時に7人のライダーが滑走し、全員が滑走不能になった場合、th。)

5.4. フリップとスピンのルール

ヘッドダウン・フリップ(フロント・フリップまたはバック・フリップ)は、FWTジュニアの大会では認められない。

水平スピン(ヘリコプター)やフラットスピンは、バインディングがライダーの頭より高くならない限り認められる。

頭より高い位置にバインディングを装着してスピンを行ったライダーはDNFとなり、それに応じて順位が決定される(NS、DNS、DNF、DQのルールについては各章を参照)。

注：このルールはFJWCにも適用される。

5.5. 天候／アクシデント・ルール

rd天候やその他の理由により競技が中止された場合(ヘッドジャッジおよびセキュリティ責任者と協議の上、競技ディレクターが決定)、競技者の2/3以上(=66,7%)がスタートした場合、イベント主催者は競技結果を有効とすることができる。

疑義を避けるため、天候待機期間および天気予報が追加的な代替案を提示し、かつ大会予算が許せば、大会主催者は全競技者のために再走を組織することを決定することができる。この決定は、天気予報、アドバイザーなどを含む様々な情報源と相談した上で、イベント主催者の独自の裁量に委ねられる。

再試合の場合、中止された日の結果は考慮されない。

もし再走が少なくとも2/3(^{rds})以上の結果を出せなかった場合、最初の走行日が最終結果となる。

もし再出走が、2/3(^{rds})の選手数からフル出場選手数までの間で達成された場合、再出走の結果のみがカウントされる。

重大な事故が発生した場合、たとえ競技者の2/3rdがスタートしていたとしても、大会主催者は独自の判断で競技結果の検証を行わないことを決定することができる。

2日間競技の場合、天候が2日目を許さない、あるいは1日目を終えることができない場合。大会の進め方については、さまざまなシナリオが考えられる。どのような形式にするかは主催者とアドバイザーが決定するが、ここではいくつかのシナリオを紹介する：

予選日と最終日の形式：

悪天候のため最終滑走が不可能な場合、および各カテゴリーで3分の2以上の選手(rd)が下山を完了した場合、レースは成立する。スタートできなかった選手は、予選日の順位に従い、審査対象選手の後に順位付けされる。

悪天候のため最終滑走が不可能な場合、また各カテゴリーにおいて滑降を完了した選手が全体の2/3(rd)に満たない場合、最終滑走はキャンセルされ、このFWTジュニアイベントの結果は1*減算された予選日のものとなる。

悪天候のため予選走行を終えることができず、かつ各カテゴリーで3分の2以上の選手^(rd)が下山を完了した場合、天候が2日目の競技を許可しない限り、レースは有効となる。

c¹) 2日目の競技が可能で、天候に十分な余裕がある場合、予選の全走行を再走するのが最良の選択である。

c²) 天候に左右されることなく2日目の競技が可能な場合、1日目に出走しなかった選手のみを出走させ、2日間を合わせて1つの予選順位とするのが最良の選択である。そして天候に恵まれた次の日に決勝を行う。この場合も、他の日が不可能であれば、1日目と2日目の結果を合計したものが最終結果となる。

初日と2日目を合わせた形式:

悪天候のため2日目終了できなかった場合は、1日目の結果が最終結果となるが、1*減算される。

大会前に悪天候が発表された場合、主催者は予選と決勝を行わず、1本だけの滑走とすることができる。この決定が大会前に発表された場合(最低D-1)、予定されていた競技レベル(スターグレード*)が予定通り開催される。

悪天候のため1日目終了できず、各カテゴリーで3分の2以上の選手^(rd)が下山を完了した場合、天候が2日目の競技を許可しない限り、レースは有効となる。

b¹) もし2日目の競技が可能で、天候に十分な余裕があるのであれば、1日目の全競技を再走するのが最良の判断である。

c²) 2日目の競技が天候に左右されずに可能である場合、1日目にスタートしなかった選手のみを走らせ、2日分を合わせて1つの順位とするのが最良の選択である。そして次に天候に恵まれる可能性のある日に2日目を行う。この場合も、他の日の競技が不可能であれば、1日目と1日目の結果を合計したものが最終的な結果となる。

5.6. 競技会場でのトレーニング

FWT JUNIOR 主催者は、大会の30日前、または遅くとも最終降雪後に競技会場を閉鎖するものとする。

主催者が発表した時間以降に競技者が競技会場を走行するのを目撃した場合、主催者はこれらのライダーを失格とする権利を有する。

競技会場が正式に閉鎖される前の走行は許可されている。

注意: 以下のルールはFJWCにも適用される。会場内を走行している選手を目撃した場合、出場を認めない。

5.7. 競技会場でのドローン撮影

大会会場でのライディングに関しては、30日前からライダーが個人所有のドローンを使って大会斜面を撮影することが禁止されている。

主催者が撮影したドローンの映像/写真のみが、すべての競技者に提供される。

5.8. 走行中の無線通信

走行中のライダーとのいかなる機器(無線、携帯電話)による通信も禁止されている。

5.9. 必須装備 & 装備チェック

すべてのライダーは、以下の必須装備を着用して出走しなければならない。出走中に必須装備を紛失した場合、ライダーはNSを取得する:

スノーボード／スキー（または同化：スプリットボード、モノスキー、テレマークスキー...）。

ヘルメット

背面プロテクター（CE認定のプロテクターであること。）プロテクター一体型のバックパックは有効なバックプロテクターとはみなされない！

リュックサック（FWTイベントのみエアバッグ付きリュックサック必須）

プローブ。（240cm以上の金属製プローブを強く推奨）。

スコップ。（金属製のスコップを強く推奨）。

アバランチ・トランシーバーを本体に装着し、電源を入れ、新しい電池を使用すること！（3アンテナトランシーバーを強く推奨する）。

RECCOリフレクター。全選手にはRECCOリフレクターが配布され、全大会で着用する（RECCOはブーツの中、ライナーとシェルの間に装着することを推奨。）

お勧めの設備と道具：

エアバッグ

マウスガード

脳震盪ベースライン検査 [\(リンク\)](#)

各大会において、FWTジュニアライダー全員の雪崩トランシーバーチェックが行われる。このチェックは、スタート地点に向かうハイクの麓、もしくはスタート前のエリアで行われる。

スタート前に背中での保護とバックパックの中身をチェックする。

ライダーが必須装備をすべて持っていない場合、そのライダーはスタートすることができず、DNSとなる。

走行中に必須用具を紛失した場合、NSが与えられる。

必須装備：上記の装備は、ライダーが日常的に使用するものでなければならない。この装備は、大会前の下見、フリーライドエリアの横断、下見ゾーンへの到達、フィニッシュ、装備チェック、競技開始など、大会のすべての時間帯、すべての段階において、適切な作動状態にあり、積極的に活用されなければならない。

個人の安全責任FWTマネジメントおよび主催者は、安全なイベントを開催するためにあらゆる努力を払うが、個々のライダーは、大会前、大会中、大会後において、常に個人の安全に注意を払うべきである。注意深く、責任を持って行動することはライダーの義務である。

注意：GoPro/アクションカメラをマウスマウントに装着して出場することは禁止されている。

5.10. 表彰式

表彰台に上がったライダーは、賞品を受け取るために表彰式に出席しなければならない。主催者は、表彰式に出席できない正当な理由（負傷）しか認めない。ライダーが表彰式に出席できない場合は、主催者に報告しなければならない。警告なしに、主催者が賞品の分配を留保することを決定する可能性がある。

6. ライダーズ・ミーティング

6.1. 必須ミーティング

ライダーズミーティングは大会前日または当日の朝に開催され、全選手に義務付けられている。ライダーズミーティングでは、雪の状態、フェースのクローズエリアの可能性、スタート地点へのアクセスルート、大会スケジュール、安全装備（ハーネス）の追加の可能性などが話し合われる。

主催者は、ライダーズ・ミーティングを大会前日に行うか、大会当日に行うかを決定し、連絡する。

正当な理由によりライダーズ・ミーティングに出席できないライダーは、別の機会に主催者に申し出て、セキュリティ・スピーチとBIBナンバーを取得しなければならない。

ライダーズミーティングにまったく出席できないライダーはスタートできず、DNSとなる。

ライダーズ・ミーティングとセーフティ・ミーティングは、大会主催者によって、大会前日または当日に、オンラインまたは会場で行われる。ただし、これらのミーティングに出席し、提供されるすべての書類に目を通すことは、参加するすべての選手にとって必須である。

ほとんどの場合、ライダーは以下のプロセスを踏まなければならないだろう：

受理されたライダー全員に事前に送付される「ファースト・ライダーズ・ミーティング・ドキュメント」。

D-1で受理された全選手に送られる2通目の書類。

最後に、大会に先立ち、セキュリティ・ブリーフィングが行われる。

繰り返しになるが、大会に参加することにより、ライダーはライダーズミーティングの文書を読み、理解する責任があることを受け入れ、理解する。

6.2. BIBドロー

BIB番号は、ライダーズミーティングの際に手作業で、または電子的な無作為抽選によって抽選される。もし2番目の方法が採用された場合、BIB番号は認定時にライダーに手渡される可能性がある。

7. 審査

審査システムに関する文書は、FWT ウェブサイトの「JUDGING RULEBOOK」に掲載されている。

審査員団は、2名の審査員と1名のヘッドジャッジで構成される。

フリーライド・ジュニア世界選手権では、国際的なジャッジパネルが設けられる。

最適なスピードでイベントを進行させるために、2つのジャッジパネルのセットアップが提案される（特に多くの競技者が参加するイベントでは）。

カテゴリーごとのライダー数にもよるが、1つのパネルがスキー男子のみを審査し、2つ目のパネルがそれ以外のカテゴリーを審査することで、可能な限り2つの審査員パネルでライダーを交互に審査することができる。これにより、各パネルはほぼ同じ本数の滑走を審査することができる。

ヘッドジャッジは、雪のコンディションと会場の特徴をより包括的に理解するために、大会前に会場を走らなければならない。

7.1. 審査制限

スタート地点とゴール地点には、少なくとも上部に1本、下部に2本の旗を立てなければならない。

ライダーズミーティングにおいて、主催者、競技長、またはヘッドジャッジから別段の指定がない場合、出走はゲートを出た時点で開始され、フィニッシュラインに到達した時点で終了する。

安全上の理由から、"審査終了ライン"がフィニッシュエリアから数百メートル離れた場所にあることもあり得る。このことはライダーズミーティングで明確に説明されなければならない。
コンディションが悪化すれば、大会中にクローズドエリアが変更される可能性もある。

この場合、決定は山頂に残っているライダーに伝えられる。混乱を避けるため、新しいリミットが描かれた写真がスターターに送られるのが理想的だ。必要であれば、修正が行われた場所に行く予定のライダーは、自分のカテゴリーで後からスタートすることができる。

競技中にコンディションが悪化した場合、ジャッジの制限やクローズドエリアが変更される可能性があるため、セカンドラインチョイスを持つことを強く勧める。

8. 苦言

8.1. 最終スコアの変更

最終スコアは以下の場合にのみ変更できる：

コンピューター/ウェブ上でスコアの入力を間違えた場合。

ライダーがクローズドエリアに進入してペナルティを受けたが、ジャッジがクローズドエリアの限界について間違っていた場合。

クローズドエリアに進入しても罰則を受けなかった場合。

エンドオブジャッジラインより後に転倒してペナルティを受けた場合、またはエンドオブジャッジラインより前に転倒してペナルティを受けなかった場合。

8.2. 確認できないライディング

ジャッジが見ることのできない大会斜面の一部で競技者がライディングしている場合、ジャッジがその行為を映したライブビデオを持っているか、そのような行為についてパネルとコミュニケーションが取れる他のジャッジやオフィシャルがいない限り、その競技者の行為（良し悪し）は採点されない。

8.3. 苦情のタイミング

ライダーは大会当日に限り、スコアに関する苦情を申し立てることができる。大会当日以降はいかなる苦情も受け付けられない。

9. 選手の権利と責任

9.1. ライダー行動規範

FWTジュニアのライダーは、開催国のルールと法律を尊重しなければならない。

ライダーは、アンチ・ドーピングに関する世界アンチ・ドーピング機構(WADA)の規則に従う必要があり、これらの規則を尊重しない場合は制裁を受けることになる。これにはWADA禁止リスト(禁止物質および禁止方法)も含まれる。

スタート、フィニッシュ、インスペクション・ポイント、表彰式、公式行事などの公式エリアで違法薬物を使用しているライダーが目撃された場合、FWTの制裁を受ける可能性がある。

FWTジュニアのライダーは、主催リゾート、地元オーガナイザー、パートナー、メディア、そしてライダーに対して適切に振る舞うことが求められる。

FWTジュニアライダーがオーガナイザーやジャッジに対して攻撃的な態度を取った場合、1大会もしくは複数大会の出場禁止、または罰金といったFWTの制裁を受ける可能性がある。

FWT、FWT QUALIFIER、FWT JUNIORのライダーが、FWT組織、従業員、ホスト、パートナー、および/または選手に対して、悪いメッセージや容認できないメッセージを広めた場合、制裁を受ける可能性があります。制裁はFWTマネジメントによって決定される。罰金から、1つ以上のイベント（FWT、FWT CHALLENGER、FWT QUALIFIER、FWT JUNIOR、またはその他の姉妹イベント）への参加禁止まで、あらゆる制裁が考えられます。

スポーツは、男女平等を推進し、女性と男性に関する規範や固定観念を形成するための最も強力なプラットフォームの一つです。スポーツ界のリーダーとして、またスポーツムーブメントにおけるコミュニケーターとして、私たちは、あらゆる形態のメディアやコミュニケーションチャンネルにおいて、スポーツ界の女性やアスリートが、どのように写真に撮られ、描写され、語られ、表現され、描写されるべきか、その方向性を示すことができます。ジェンダーに基づく偏見に満ちた発言や行動は、制裁の対象となります。

9.2. 選手のメンタルヘルスとウェルビーイング

メンタルヘルスに関する啓蒙と支援:

フリーライド・ワールドツアー(FWT)は、メンタルヘルスの重要性を認識し、それがアスリートに与える影響を認識している。FWTは、すべての参加者のメンタルヘルスに対する認識、理解、サポートを促進することを約束する。アスリートがメンタルヘルスに関して共有するいかなる情報も、秘密厳守で取り扱われる。アスリートは、判断や反響を恐れることなく、支援を求めたり、懸念を共有することができます。

すべてのアスリートは、各シーズンの初めに脳震盪ベースライン検査を完了し、自分の状態を評価し、脳震盪が疑われた後の検査と結果を比較できるようにする必要があります。

トレーニング中、競技中、または関連する活動中に脳震盪を起こしたと疑われる場合、脳震盪プロトコルに従い、指定された医療担当者に直ちに報告することが選手の責任である。選手は、適切な評価を受けるまで、競技に参加し続けてはならない。

脳震盪プロトコル

すべてのFWT選手は、[脳震盪ガイドライン](#)を熟知し、自身の健康と回復に責任を持たなければならない。しかし、FWTは以下の支援行動を強化する:

1. 衝撃ベースライン・テストすべてのライダーは、自分のコンディションを評価し、脳震盪が疑われた後の検査結果と比較できるように、各シーズンの初めに脳震盪ベースライン検査を受けることを強く推奨される。自己評価には必ず医師の診断が必要である。
2. 推奨装備すべてのFWTライダーは、競技中およびトレーニング中にマウスガードを着用することを強く推奨する。マウスガードは脳震盪のリスクを軽減することが証明されている。
3. 競技中の医療サポートトレーニング中、競技中、または関連する活動中に脳震盪を起こしたと思われる場合、選手は脳震盪プロトコルに従い、直ちに指定された医療担当者に報告する責任があります。FWTは大会に医療スタッフを派遣しますので、すべての選手はそのような状況下で医療スタッフに相談することを強く推奨します。ライダーが意識を失った場合、直ちに競技から離脱し、医療スタッフによる診断を受ける。
4. 評価: 頭部外傷または脳震盪を引き起こす可能性のある傷害事象が発生し、医師または医療専門家が同席する場合、選手は診察を受け、SCAT5評価を含む完全な評価を受ける。脳震盪が疑われる場合、評価の前に競技を再開することはできない(例: 2本滑走の場合)。場合によっては、選手は病院でさらなる評価を受ける必要がある。

5. 診断: 現在のメディカルスタッフによって脳震盪と診断された場合、FWTに報告され、その選手は競技に参加することは認められず、メディカルスタッフによって適切であると診断されるまで、直ちに活動を中止しなければならない。
6. プレーへの復帰: 脳震盪後、アスリートは症状が改善するように数日間は身体的安静と相対的な認知的安静をとるべきである。選手は脳震盪に関連した症状が回復するまで、プレー／スポーツに復帰すべきではない。
7. ポイントの凍結: すべての選手は、脳震盪の後、シードリスト上のポイントの凍結を申請することができる。その他の負傷については、選手は診断書をFWTに提出しなければならない。

9.3. 持続可能性

世界が直面している環境問題の深刻化に対応するため、FWTマネジメントは行動を起こし、何よりもまず私たちの生活の質、そして小規模ではあるがスノースポーツ業界を脅かしているこの喫緊の問題と戦っていく所存である。

FWTのコミットメントは、"PLAN-DO-CHECK-ACT"アプローチを用いた強固で持続可能な戦略に基づき、継続的な改善プロセスに取り組むことである。長期的には、その戦略を達成し、永続的な変化を実施するための成功は、FWTのコミットメントのレベルだけでなく、すべてのステークホルダー（スタッフ／ボランティア、パートナー、ライダー、メディア）と公認イベントの強力な関与にかかっている。

このため、FWTジュニアとFWTクオリファイのライダーは、他のライダー、イベントスタッフ、地域社会、環境に対して持続可能な行動を取ることを約束し、自らの一歩一歩を持続可能なものとして考えることが求められている。

10. FWTジュニア・ポイント・システム

10.1. スキー男子

FJWC 4****		ジュニア 3***		ジュニア 2**		ジュニア1	
ランキング	ポイント	ランキング	ポイント	ランキング	ポイント	ランキング	ポイント
1	1300	1	800	1	480	1	260
2	1020	2	640	2	360	2	190
3	840	3	500	3	280	3	145
4	700	4	410	4	230	4	120
5	600	5	360	5	200	5	105
6	520	6	315	6	175	6	95
7	450	7	275	7	160	7	90
8	400	8	245	8	150	8	88
9	370	9	225	9	140	9	86
10	345	10	210	10	135	10	85
11	325	11	195	11	130	11	84
12	310	12	185	12	125	12	83
13	295	13	175	13	120	13	82
14	285	14	170	14	115	14	81
15	275	15	165	15	110	15	80
16	266	16	160	16	108	16	79
17	258	17	158	17	106	17	78

18	250	18	156	18	104	18	77
19	243	19	154	19	102	19	76
20	237	20	152	20	100	20	75
21	232	21	150	21	99	21	74
22	227	22	148	22	98	22	73
23	222	23	146	23	97	23	72
24	218	24	144	24	96	24	71
25	214	25	142	25	95	25	70
26	210	26	140	26	94	26	69
27	207	27	138	27	93	27	68
28	204	28	136	28	92	28	67
29	201	29	134	29	91	29	66
30	198	30	132	30	90	30	65
31	195	31	130	31	89	31	64
32	192	32	128	32	88	32	63
33	189	33	126	33	87	33	62
34	186	34	124	34	86	34	61
35	183	35	122	35	85	35	60
36	180	36	120	36	84	36	59
37	177	37	118	37	83	37	58
38	174	38	116	38	82	38	57
39	171	39	114	39	81	39	56
40	168	40	112	40	80	40	55
41	166	41	110	41	79	41	54
42	164	42	108	42	78	42	53
43	162	43	106	43	77	43	52
44	160	44	104	44	76	44	51
45	158	45	102	45	75	45	50
46	156	46	100	46	74	46	49
47	154	47	98	47	73	47	48
48	152	48	96	48	72	48	47
49	150	49	94	49	71	49	46
50	148	50	92	50	70	50	45
51	146	51	90	51	69	51	44
52	144	52	88	52	68	52	43
53	142	53	86	53	67	53	42
54	140	54	84	54	66	54	41
55	138	55	82	55	65	55	40
56	136	56	80	56	64	56	39
57	134	57	78	57	63	57	38
58	132	58	76	58	62	58	37
59	130	59	74	59	61	59	36
60	128	60	72	60	60	60	35
61	126	61	70	61	59	61	34
62	124	62	68	62	58	62	33
63	122	63	66	63	57	63	32

64	120	64	64	64	56	64	31
65	118	65	62	65	55	65	30
66	116	66	60	66	54	66	29
67	114	67	59	67	53	67	28
68	112	68	58	68	52	68	27
69	110	69	57	69	51	69	26
70	108	70	56	70	50	70	25
71	106	71	55	71	49	71	24
72	104	72	54	72	48	72	23
73	102	73	53	73	47	73	22
74	100	74	52	74	46	74	21
75	98	75	51	75	45	75	20
76	96	76	50	76	44	76	19
77	94	77	49	77	43	77	18
78	92	78	48	78	42	78	17
79	90	79	47	79	41	79	16
80	88	80	46	80	40	80	15
81	86	81	45	81	39	81	14
82	84	82	44	82	38	82	13
83	82	83	43	83	37	83	12
84	80	84	42	84	36	84	11
85	78	85	41	85	35	85	10
86	76	86	40	86	34	86	9
87	74	87	39	87	33	87	8
88	72	88	38	88	32	88	7
89	70	89	37	89	31	89	6
90	68	90	36	90	30	90	5
91	66	91	35	91	29	91	4
92	64	92	34	92	28	92	3
93	62	93	33	93	27	93	2
94	60	94	32	94	26	94	1
95	58	95	31	95	25	95	1
96	56	96	30	96	24	96	1
97	54	97	29	97	23	97	1
98	52	98	28	98	22	98	1
99	50	99	27	99	21	99	1
100	48	100	26	100	20	100	1
101	46	101	25	101	19	101	1
102	44	102	24	102	18	102	1
103	42	103	23	103	17	103	1
104	40	104	22	104	16	104	1
105	38	105	21	105	15	105	1
106	36	106	20	106	14	106	1
107	34	107	19	107	13	107	1
108	32	108	18	108	12	108	1
109	30	109	17	109	11	109	1

110	28	110	16	110	10	110	1
111	26	111	15	111	9	111	1
112	24	112	14	112	8	112	1
113	22	113	13	113	7	113	1
114	20	114	12	114	6	114	1
115	18	115	11	115	5	115	1
116	16	116	10	116	4	116	1
117	14	117	9	117	3	117	1
118	12	118	8	118	2	118	1
119	10	119	7	119	1	119	1
120	8	120	6	120	1	120	1

10.2. スキー女子&スノーボード男子

FJWC 4****		ジュニア 3***		ジュニア 2**		ジュニア1	
ランキング	ポイント	ランキング	ポイント	ランキング	ポイント	ランキング	ポイント
1	1300	1	800	1	480	1	260
2	1020	2	640	2	360	2	190
3	840	3	500	3	280	3	145
4	700	4	410	4	230	4	120
5	620	5	360	5	200	5	105
6	560	6	315	6	175	6	95
7	500	7	275	7	160	7	85
8	450	8	245	8	150	8	75
9	400	9	225	9	140	9	70
10	350	10	210	10	130	10	65
11	310	11	195	11	120	11	62
12	285	12	180	12	110	12	59
13	255	13	165	13	105	13	56
14	230	14	150	14	100	14	53
15	210	15	140	15	95	15	50
16	195	16	130	16	90	16	47
17	180	17	120	17	85	17	44
18	170	18	110	18	80	18	42
19	160	19	100	19	75	19	40
20	150	20	95	20	71	20	38
21	140	21	90	21	67	21	36
22	130	22	85	22	63	22	34
23	125	23	80	23	59	23	32
24	120	24	75	24	55	24	30
25	115	25	70	25	51	25	28
26	110	26	67	26	47	26	26
27	105	27	64	27	45	27	24
28	100	28	61	28	43	28	22
29	95	29	58	29	41	29	20
30	90	30	55	30	39	30	19
31	85	31	52	31	37	31	18

32	80	32	49	32	35	32	17
33	75	33	46	33	33	33	16
34	70	34	43	34	31	34	15
35	65	35	40	35	29	35	14
36	60	36	37	36	27	36	13
37	55	37	34	37	25	37	12
38	50	38	32	38	23	38	11
39	45	39	30	39	21	39	10
40	40	40	28	40	19	40	9
41	35	41	26	41	17	41	8
42	30	42	24	42	15	42	7
43	25	43	22	43	14	43	6
44	22	44	20	44	13	44	5
45	20	45	18	45	12	45	4
46	18	46	16	46	11	46	3
47	16	47	14	47	10	47	2
48	14	48	12	48	9	48	1
49	12	49	10	49	8	49	1
50	10	50	8	50	7	50	1
51	9	51	6	51	6	51	1
52	8	52	5	52	5	52	1
53	7	53	4	53	4	53	1
54	6	54	3	54	3	54	1
55	5	55	2	55	2	55	1
56	4	56	1	56	1	56	1
57	3	57	1	57	1	57	1
58	2	58	1	58	1	58	1
59	1	59	1	59	1	59	1

10.3. スノーボード 女性

FJWC 4****		ジュニア 3***		ジュニア 2**		ジュニア1	
ランキング	ポイント	ランキング	ポイント	ランキング	ポイント	ランキング	ポイント
1	1300	1	800	1	480	1	260
2	1020	2	650	2	360	2	190
3	840	3	500	3	280	3	145
4	700	4	400	4	230	4	120
5	590	5	350	5	200	5	105
6	500	6	300	6	175	6	92
7	430	7	265	7	155	7	80
8	380	8	240	8	135	8	70
9	330	9	210	9	115	9	62
10	290	10	180	10	98	10	54
11	255	11	160	11	83	11	48
12	225	12	140	12	73	12	42
13	195	13	122	13	70	13	37
14	170	14	105	14	64	14	33
15	145	15	90	15	58	15	29

16	125	16	80	16	53	16	26
17	105	17	71	17	49	17	23
18	90	18	64	18	46	18	21
19	85	19	58	19	43	19	19
20	80	20	53	20	40	20	18
21	77	21	50	21	38	21	17
22	74	22	47	22	36	22	16
23	71	23	44	23	34	23	15
24	68	24	42	24	32	24	14
25	66	25	40	25	30	25	13
26	64	26	38	26	28	26	12
27	62	27	36	27	26	27	11
28	60	28	34	28	24	28	10
29	58	29	32	29	22	29	9
30	56	30	30	30	20	30	8
31	54	31	29	31	18	31	7
32	52	32	28	32	16	32	6
33	50	33	27	33	14	33	5
34	48	34	26	34	12	34	5
35	46	35	25	35	10	35	5
36	44	36	24	36	8	36	4
37	42	37	23	37	7	37	4
38	40	38	22	38	6	38	4
39	38	39	21	39	5	39	3
40	36	40	20	40	5	40	3
41	34	41	19	41	5	41	3
42	32	42	18	42	5	42	2
43	30	43	17	43	5	43	1
44	28	44	16	44	5	44	1
45	26	45	15	45	5	45	1
46	24	46	14	46	5	46	1
47	22	47	13	47	5	47	1
48	20	48	12	48	5	48	1
49	18	49	11	49	5	49	1
50	16	50	10	50	5	50	1

注:これらのルールブックは変更される可能性があります。極めて異例な状況において、慎重に検討した結果、FWTのマネジメントは、我々が直面する可能性のある予測不可能な変化に対応するために、現行のルールブックを適応させることを決定する場合がある。